

対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 ASEAN 招へい第 14 陣の記録

テーマ：文化・芸術交流，対象国：シンガポール

1. プログラム概要

JENESYS2019 の一環として，2019 年 12 月 2 日～12 月 10 日の 8 泊 9 日間の日程で，シンガポールの大学生・大学院生 11 名が訪日しました。本訪日団は，「文化・芸術交流」をテーマに，東京都内で博物館や美術館を訪問し，京都府内の歴史的建造物を訪れ，古くから受け継がれる荘厳な美術を視察しました。奈良県では，ホームステイで地域住民と触れることを通し，日本について多角的に理解と関心を高めました。各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。帰国前の報告会では，訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】 シンガポール 11 名

【訪問地】 東京都，京都府，奈良県

2. 日程

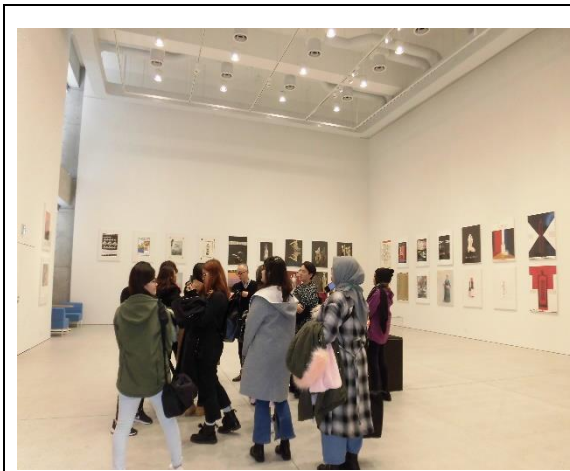
- 12月2日（月） 来日，【オリエンテーション】
【聴講】日本とシンガポールの二国間関係と日本の外交姿勢について
- 12月3日（火） 【視察】東京国立博物館，東京都庭園美術館
- 12月4日（水） 【学校交流】多摩美術大学（八王子キャンパス）
東京都から京都府へ移動
- 12月5日（木） 【学校交流】京都工芸繊維大学
【視察】鹿苑寺（金閣寺），音羽山清水寺〔世界遺産〕を視察
- 12月6日（金） 京都府から奈良県へ移動
【視察】山本瓦工業株式会社，株式会社瀧川寺社建築
華嚴宗大本山東大寺，春日大社〔世界遺産〕
- 12月7日（土） 【ホームステイ】大和飛鳥ニューツーリズム
地域の方々と交流会
- 12月8日（日） 【ホームステイ】大和飛鳥ニューツーリズム
奈良県から東京都へ移動

12月9日（月） 【ワークショップ（報告会準備）】

12月10日（火）帰国

3. プログラム記録写真

	
12月2日 オリエンテーション	12月2日【講義】 日本とシンガポールの関係について
	
12月3日【訪問】 東京国立博物館	12月3日【訪問】 東京都庭園美術館



12月4日【学校交流】
多摩美術大学



12月5日【学校交流】
京都工芸繊維大学



12月5日【世界遺産視察】
鹿苑寺（金閣寺）



12月5日【世界遺産視察】
音羽山清水寺



12月6日【視察】
山本瓦工業株式会社



12月6日【視察】
株式会社瀧川寺社建築

	
<p>12月7日【民泊体験】 奈良県明日香村</p>	<p>12月9日【表敬】 在京シンガポール大使館</p>
	
<p>12月9日 ワークショップ</p>	

4. 参加者の感想（抜粋）

- ◆ 今回のプログラムを通じ、日本の学生達が若い時から日本の芸術や文化が周りに存在する環境で育ち、学校の授業でその技術を学ぶ機会が与えられていることを知りました。教師として日本との関係を持ち続け、滞在した1週間を通して理解を深める事ができた日本に関する知識を発信していきます。美術館視察、学校交流、会社訪問等は、私にとって大変有意義でした。
- ◆ 私は日本滞在中に数々の興味深い発見をし、多くの体験をしました。大きな建造物（寺院や学校）とは別に、日本の文化についてとても驚かされ、尊敬の念を持ちました。またホームステイで日本人の家族と一緒に滞在し、本物の日本の生活を体験する機会があり、日常における数々の挨拶の仕方や感謝の表現、他人に対して尊敬を示すことを学びました。毎日ホストファミリーが作る日本料理から、料理方法を学ぶ機会も得ました。私が作った料理は、天ぷら、おにぎり、そしてうどんです。私達はよりお互いを知るために、1つのテーブルで皆が一緒に食事をしました。

- ◆ 東京国立博物館やタイル会社等の視察を通して、日本の芸術に携わる会社等には、今日まで守り継がれている伝統方法であり、陶器や磁器を創る数々の方法があるということを知りました。さらに、それは独特であり、他と比べて優秀で際立っている様式です。私は、シンプルに創られる陶器に興味をそそられ、この製造方法や陶磁器芸術の分野において異なった様式があるということを生徒たちに紹介したいと思います。

5. 受け入れ側の感想（抜粋）

- ◆ 京都工芸繊維大学

今回の訪日団の中に建築を専攻する人はいなかったが、日本の建築に関心を持つ学生が多かったので熱心に講義を聞いてくれた。

特に大学として力を入れているデジタルファクトリーと移築プロジェクトの説明に対し興味を示していただきプレゼンの遣り甲斐があった。

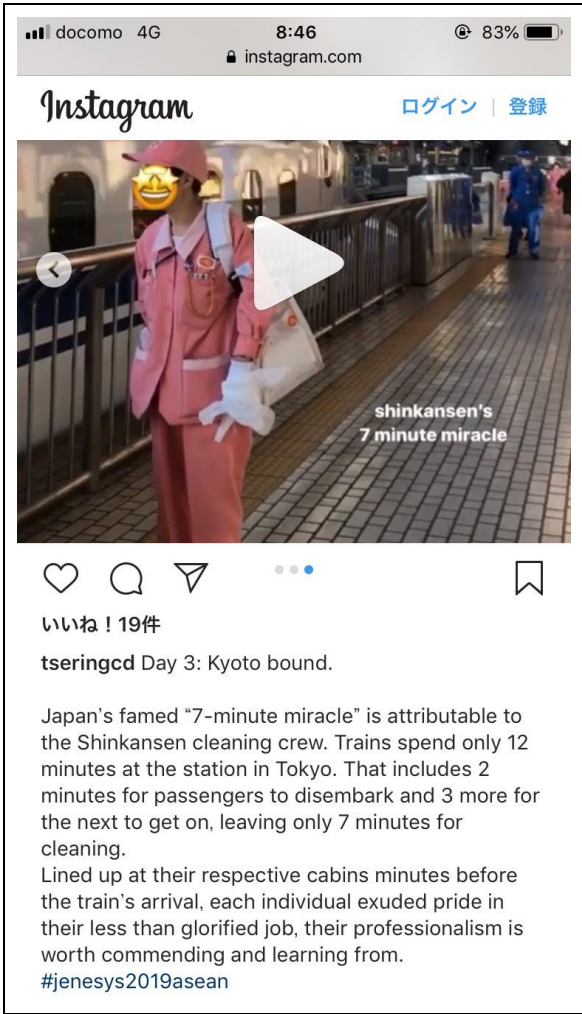

- ◆ 山本瓦工業株式会社

今回はシンガポールからの訪日団という事で、ちょうどシンガポールにある双林寺の屋根瓦吹替事業を行っているところだったので、これを題材にした説明を行った事で完成時期や品質管理に関する活発な質問がありタイミングが良く充実した訪問機会となり良かった。

- ◆ 奈良明日香村ホームステイ事務局

1泊2日の短い滞在ではありましたが、各家庭で夫々楽しい思い出を作れたようで非常に良かったです。ホストファミリーはどの家庭でも着物の着付け、茶道、日本食調理、農作業、柿もぎなど多くのアクティビティーを用意してくれたので日本での様々な経験が出来たと思います。

6. 参加者の対外発信

	
<p>新幹線の清掃員についての発信。</p>	<p>明日香村のホームステイについての発信。</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

	
<p>アクション・プランの発表 1 何を？：浮世絵などの木版画の美術作品を GOOGLE ARTS & CULTURE（世界中の文化遺</p>	<p>アクション・プランの発表 2 何を？：美術の授業をさらに楽しくするた めに、また基本的なデザインの原理（柄）</p>

<p>産をオンラインで紹介するアプリ)を通して紹介する。</p> <p>いつ、どこで? : カリキュラム授業中 / 美術部の時間 / 美術教室 / 教室</p> <p>どのように? : 生徒達は、日本の版画技術で造られた美術作品を調べたり読んだりするのに、機器 (iPod 等) を使用する。美術作品の画像を拡大できることで、より詳細に画像を観ることができる。</p>	<p>を確立するために、生徒も興味のある和柄を取り入れる。</p> <p>いつ、どこで? : 2020 年 1 月の始業後、中学校で。</p> <p>どのように? : 線や形をもっと意味のあるモチーフに関連付けることは日本の文化や歴史に組み込まれており、その和柄の要素を使って実際に自分自身のユニークな柄を創作する。</p>
--	--

事業実施団体 : 株式会社 J T B